

第三者意見

駿河台大学名誉教授・博士(経営学)

MIZUO コンプライアンス&ガバナンス研究所代表

水尾 順一氏

経歴 (株)資生堂から1999年駿河台大学助教授、2000年教授を経て、2018年4月名誉教授に就任、現在に至る。
(株)ダイセル社外監査役、(株)西武ホールディングス企業倫理委員会社外委員、日本経営倫理学会副会長、経営倫理実践研究センター首席研究員、2010年ロンドン大学客員研究員他。
著書『サステナブル・カンパニー:「ずーっと」栄える会社の事業構想』宣伝会議など多数



企業でCSRの実務を推進し、大学でその理論構築をして「CSRの理論と実践の融合」を社会に促進してきた立場から、住友生命グループのCSR活動について以下に第三者意見を申し述べます。

高く評価できる点

住友生命オリジナルの「ECS-V(価値協創型三方よし経営)」として、先進的な取り組みが高く評価されます。

住友生命グループ(以下、同社)は、2018年7月に健康増進型保険“住友生命「Vitality」”を発売し、超高齢社会に向けた「健康長寿社会」の実現を目指すCSVプロジェクトへの取り組みを進めています。

具体的には、①お客さま(Customer)への「Vitality」の提供、②社会全体(Society)への健康増進の働きかけ、③職員(Employee)とその家族が健康になる「健康経営」の推進、という3つの行動を通じて、日本の「健康寿命の延伸」という「社会的課題の解決」と「企業価値の向上」を両立させる活動です。売り手よし、買い手よし、世間よしの「三方よし」にもつながる考え方です。

筆者はその核となるのが、③の職員の一人ひとりの健康に対する意識と行動が理解・実践されることだと確信しています。なぜならCSVを実践し、健康長寿への顧客満足の実践や社会の意識啓発を促進するのは他ならぬ職員であり、いわば彼ら・彼女たちは扇の要(かなめ)的存在であるからです。

上記のことから、同社のCSVプロジェクトは、職員(E)ーお客さま(C)ー社会(S)が一体になって、それぞれの価値(Value)を共に協力しながら創造(Creation)し、共有する(Share)意味で、「ECS-V(価値協創型三方よし経営)」と称することができます。

※Eは職員、Cはお客さま・創造、Sは社会・共有、Vは価値を示す多様な意味を示します。

Vitalityは、すでに「Shared Value Insurance(共有価値保険)」として海外からも高く評価されていることから、ECS-Vは、住友生命オリジナルのCSV活動として、社内外に広く提言できるとともに世界からも賞賛される秀逸な取組みと考えます。

今後期待する点

「<視・聴・話(しちょうわ)>ミーティング」の開催を通じた、全社運動を期待いたします。

同社は、すでに職員による座談会の開催など、全社を巻き込んだ取り組みが進められていることが、今年度のレポート・スミセイでも報告がされています。

前述のとおり、この取組みは職員一人ひとりの意識と行動が重要であることから、こうした座談会の開催はECS-Vの浸透・定着にはきわめて有効であると確信し、今後とも継続・拡大されることを希望します。

あわせて、その座談会とは別に、次のように経営層も含めた取組みとして全社で制度化し実践されることを期待いたします。経営層である多くの役員が、「現場を見て(視)、職員の声に耳を傾け(聴)、そして互いに話し合う(話)」ことで、ECS-Vの理解と納得、さらには組織の一体感も醸成されると考えます。

経営層と現場との「<視・聴・話>ミーティング」の開催が、ECS-V成功の鍵を握ると確信します。同社の一層の持続可能な発展を祈念してやみません。

第三者意見を受けて

住友生命保険相互会社 執行役常務 **古河 久人**

当社CSR活動に対し貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。今年度は「スミセイ中期経営計画2019」の2年目にあたり、2018年7月の健康増進型保険“住友生命「Vitality」”発売を契機に、「お客さま」「社会」「会社・職員」との共有価値を創造する「CSV(Creating Shared Value)プロジェクト」を本格化させております。

「CSVプロジェクト」の取組みのひとつとして職員とその家族が健康になる「健康経営」の推進を掲げており、「働き方変革」をはじめ、職員の健康に対する意識と行動の変革を進めております。そして、職員一人ひとりが「CSVプロジェクト」の核であるという自覚を持って、社会やお客さまに

健康増進の大切さをお伝えしてまいります。

また、当社はかねてより、役員と現場の職員による「対話ミーティング」を実施しております。「今後期待する点」に挙げていただいております「<視・聴・話>ミーティング」を参考に、「対話ミーティング」をはじめとする当社の取組みを発展させてまいります。

昨今、SDGsに代表されるように持続可能な社会づくりの重要性が高まっております。「CSVプロジェクト」で掲げております「健康寿命の延伸」をはじめとし、生命保険会社の特性を活かしたテーマを中心に取組みを加速させ、社会とともに繁栄できる企業を目指してまいります。

